

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日
東

上場会社名 岡谷電機産業株式会社 上場取引所
コード番号 6926 URL <https://www.okavaelec.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高屋舗 明
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画室長 (氏名) 金丸 昌雄 TEL 03-4544-7000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,494	7.5	△1,312	—	△1,290	—	△1,255	—
2025年3月期第3四半期	6,971	△38.8	△1,204	—	△1,165	—	△1,158	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △830百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △1,087百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△56.08	—
2025年3月期第3四半期	△51.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	14,136	6,238	44.1
2025年3月期	14,045	7,068	50.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 6,238百万円 2025年3月期 7,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,000	14.6	△970	—	△945	—	△970	△43.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無
新規 ー社 (社名)ー、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :無
- ④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	22,921,562株	2025年3月期	22,921,562株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	537,723株	2025年3月期	537,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	22,384,075株	2025年3月期3Q	22,374,155株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)」が保有する当社株式が含まれています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 地域別売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、緩やかな景気回復基調がみられる一方、物価上昇の継続や原材料価格の高止まり、長期金利の上昇等が下振れリスクとして懸念される状況となりました。海外では、米国の関税措置に関する合意が進み、米国の通商政策を巡る過度な懸念はやや後退したものの、中国における景気の足踏みや地政学リスクの高まり等、先行き不透明感は強く、景気・物価への影響が懸念されています。

当社の主要な販売市場においては、空調機器向けにおいて緩やかな回復基調が継続するとともに、車載関連向けは増加傾向で推移しています。一方、産業機器向けは長期化していた納入先における在庫調整が進展しつつあるものの、回復は想定よりもやや遅れており、厳しい環境が続いています。

このような経営環境のなか、販売体制の強化を進め、空調機器、産業機器、車載関連等の重点分野を中心に新製品の拡販及び新規案件の獲得に注力し、受注高は前年同期より増加しました。しかしながら過年度において急激に増加した売上高の反動減の影響も未だ残っており、本格的な受注の回復は遅れている状況です。

営業利益については、コスト構造改革の推進や製品価格の改定を引き続き進めておりますが、原材料調達コストの上昇やコンデンサ製品における新製品の立上げ並びに生産ラインの再構築に伴う一時的な費用増加の影響により、営業損失となりました。

当社は用途や使用環境が多様化するなかで、高い信頼性要求にこたえる製品ラインナップを一層拡充し、コンデンサ製品及びノイズ・サージ対策製品での新製品供給に対応した生産ラインの強化を進めると同時に、既存生産ラインの再編等による生産性向上並びに多岐にわたる原価改善への取組みを強化しております。また、事業構造の見直しを進めるとともに、製品の統廃合、新製品への切り替え、価格改定を着実に進め収益性の改善を進めてまいります。収益力回復に向けたこれらの取組みとともに、営業本部と技術本部の連携を強化し、豊富な製品群を活かしたEMC対策^(*)の提案力をさらに高めていくことで、安定的な収益基盤構築への取組みを加速してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は74億94百万円（前年同期比108%）、営業損失は13億12百万円（前年同期は12億4百万円の営業損失）、経常損失は12億90百万円（前年同期は11億65百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は12億55百万円（前年同期は11億58百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

^(*) EMC : Electro Magnetic Compatibility 電磁両立性を表し、電磁ノイズとも総称されます。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

コンデンサ製品

海外において主力分野である空調機器向けと産業機器向けが増加したことにより、コンデンサ製品の売上高は33億11百万円（前年同期比116%）となりました。

ノイズ・サージ対策製品

海外における空調機器向けの増加により、ノイズ・サージ対策製品の売上高は25億82百万円（同111%）となりました。

表示・照明製品

前年度に増加した防衛産業向けの減少により、表示・照明製品の売上高は13億81百万円（同85%）となりました。

センサ製品

国内における産業機器向け及び時計指針補正用等の増加により、センサ製品の売上高は2億18百万円（同132%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、141億36百万円となりました。これは、現金及び預金が6億94百万円減少、受取手形及び売掛金38百万円、棚卸資産2億2百万円、有形固定資産29百万円、投資有価証券4億19百万円並びに繰延税金資産54百万円が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億21百万円増加し、78億97百万円となりました。これは主に、借入金7億47百万円増加、繰延税金負債が1億35百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億30百万円減少し、62億38百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失12億55百万円の計上、その他有価証券評価差額金が2億75百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日に公表した連結業績予想に変更はありません。厳しい経営環境が続いているものの、主力セグメントの利益率の改善や受注回復の傾向がみられます。当社は引き続き収益回復に向けた施策を着実に推進し、業績回復に繋げてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,299,166	2,604,184
受取手形及び売掛金	3,091,494	3,130,284
商品及び製品	738,946	865,276
仕掛品	448,648	435,842
原材料及び貯蔵品	920,116	1,009,099
その他	326,995	357,165
貸倒引当金	△1,530	△1,714
流動資産合計	8,823,837	8,400,140
固定資産		
有形固定資産	2,701,112	2,730,778
無形固定資産	195,543	203,992
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121,797	2,541,689
繰延税金資産	99,760	154,318
その他	229,529	231,018
貸倒引当金	△126,163	△125,213
投資その他の資産合計	2,324,925	2,801,812
固定資産合計	5,221,582	5,736,583
資産合計	14,045,419	14,136,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	754,435	711,449
短期借入金	598,120	1,282,700
1年内返済予定の長期借入金	1,105,260	1,390,356
リース債務	126,976	123,920
未払法人税等	37,642	22,488
未払金	352,826	354,070
その他	592,032	669,892
流動負債合計	3,567,293	4,554,878
固定負債		
長期借入金	2,109,703	1,887,742
リース債務	61,395	85,690
繰延税金負債	422,196	557,283
再評価に係る繰延税金負債	204,253	204,253
役員株式給付引当金	39,917	39,917
退職給付に係る負債	548,879	538,916
資産除去債務	7,505	7,505
その他	15,353	21,792
固定負債合計	3,409,204	3,343,101
負債合計	6,976,498	7,897,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,295,169	2,295,169
資本剰余金	1,931,557	1,931,557
利益剰余金	683,588	△571,611
自己株式	△178,514	△178,576
株主資本合計	4,731,801	3,476,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	955,045	1,230,811
土地再評価差額金	472,765	472,765
為替換算調整勘定	891,552	1,045,785
退職給付に係る調整累計額	17,756	12,842
その他の包括利益累計額合計	2,337,119	2,762,205
純資産合計	7,068,921	6,238,744
負債純資産合計	14,045,419	14,136,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,971,802	7,494,998
売上原価	6,149,084	6,776,295
売上総利益	822,718	718,702
販売費及び一般管理費	2,027,410	2,031,149
営業損失(△)	△1,204,692	△1,312,446
営業外収益		
受取利息	6,672	6,760
受取配当金	108,552	94,938
その他	14,251	9,497
営業外収益合計	129,476	111,196
営業外費用		
支払利息	68,820	58,821
為替差損	4,003	20,880
その他	17,580	9,559
営業外費用合計	90,404	89,261
経常損失(△)	△1,165,620	△1,290,511
特別利益		
固定資産売却益	—	3,689
投資有価証券売却益	—	22,038
特別利益合計	—	25,727
特別損失		
固定資産除却損	—	2,733
特別損失合計	—	2,733
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,165,620	△1,267,517
法人税等	△7,321	△12,317
四半期純損失(△)	△1,158,298	△1,255,199
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,158,298	△1,255,199

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,158,298	△1,255,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,836	275,766
為替換算調整勘定	170,061	154,233
退職給付に係る調整額	△3,488	△4,914
その他の包括利益合計	70,736	425,085
四半期包括利益	△1,087,562	△830,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,087,562	△830,114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	247,411千円	244,462千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンデンサ 製品	ノイズ・ サージ対策 製品	表示・ 照明製品	センサ 製品			
売上高							
外部顧客への売上高	2,848,952	2,334,095	1,622,855	165,899	6,971,802	—	6,971,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,848,952	2,334,095	1,622,855	165,899	6,971,802	—	6,971,802
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△212,750	△471,962	275,584	△45,604	△454,732	△749,959	△1,204,692

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンデンサ 製品	ノイズ・ サージ対策 製品	表示・ 照明製品	センサ 製品			
売上高							
外部顧客への売上高	3,311,806	2,582,990	1,381,697	218,504	7,494,998	—	7,494,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,311,806	2,582,990	1,381,697	218,504	7,494,998	—	7,494,998
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△384,345	△280,550	164,154	△11,877	△512,618	△799,828	△1,312,446

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

日本	香港	タイ	中国	その他アジア	北米	その他	計
3,671,579	695,898	763,289	487,186	743,686	577,693	32,469	6,971,802
52.7%	10.0%	10.9%	7.0%	10.7%	8.3%	0.4%	100.0%

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分は、主に欧州であります。

3. 比率は構成比であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

日本	香港	タイ	中国	その他アジア	北米	その他	計
3,497,635	801,093	1,083,897	634,755	834,917	611,135	31,563	7,494,998
46.7%	10.7%	14.5%	8.5%	11.1%	8.2%	0.3%	100.0%

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分は、主に欧州であります。

3. 比率は構成比であります。